

池田泉州ホールディングス 決算レポート

業績 High Light 第5次中期経営計画の進捗

2021年度 中間期の純利益は54億円 (前年同期比+10億円)
 2021年度 通期計画の純利益を56億円⇒90億円に上方修正



詳細情報は
 コチラ

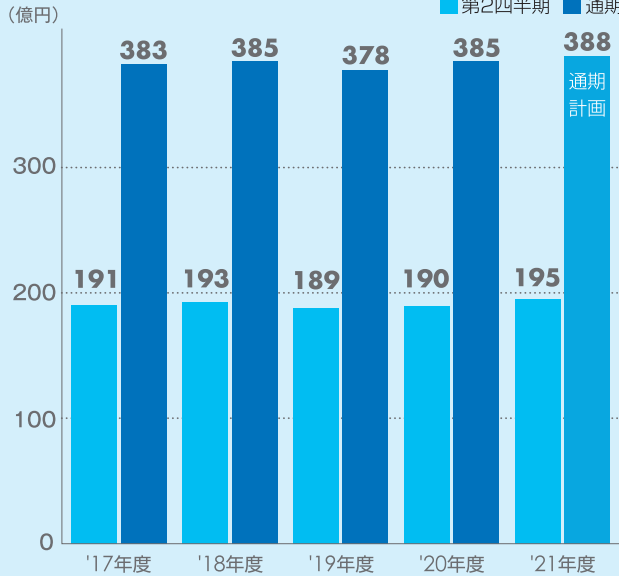
預貸金収支

預金と貸出金の利ざやから得られる

預貸金収支は**195億円**

(前年同期比+5億円)

■ 第2四半期 ■ 通期



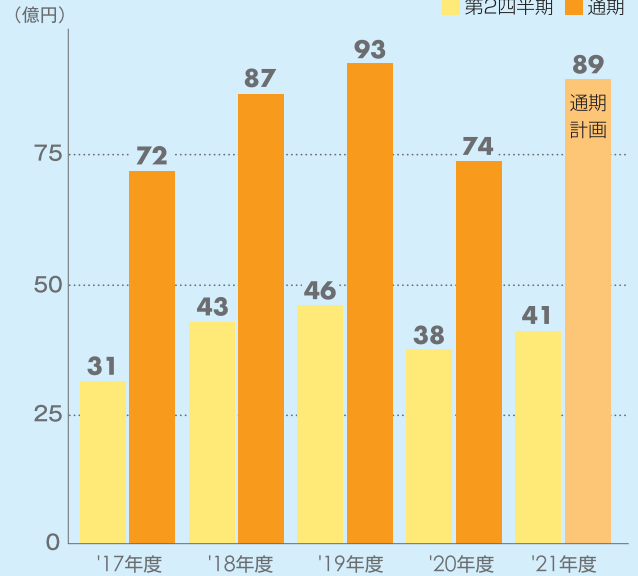
非金利収益

個人・法人の手数料を中心とした

非金利収益は**41億円**

(前年同期比+3億円)

■ 第2四半期 ■ 通期



引き続き、新型コロナウイルスの影響を受けた地元取引先の資金繰り支援に注力し、事業性貸出のボリュームが前年同期比増加したこと等もあり、預貸金収支は前年同期比+5億円の195億円を着地。

20年度中間期は1回目の緊急事態宣言による営業自粛の影響もあり、非金利収益は減少したが、21年度中間期については例年並みの水準を確保し、前年同期比+3億円の41億円を着地。

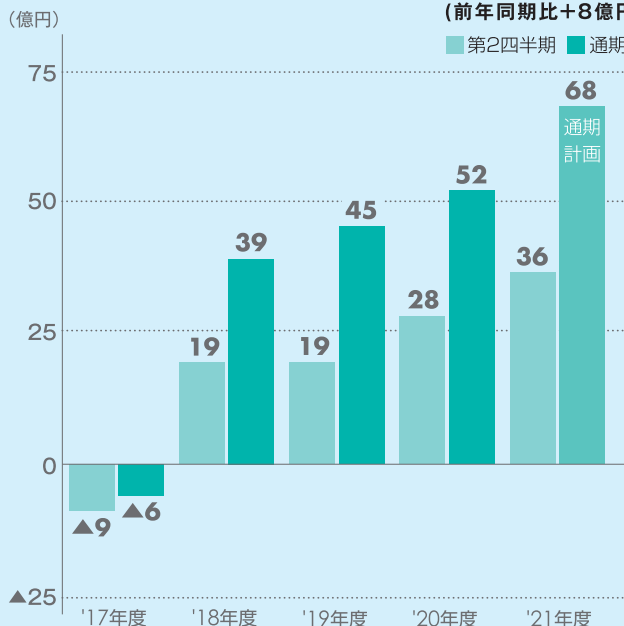
本業利益※の状況

お客さまとの取引から得られる

本業利益は**36億円**

(前年同期比+8億円)

■ 第2四半期 ■ 通期

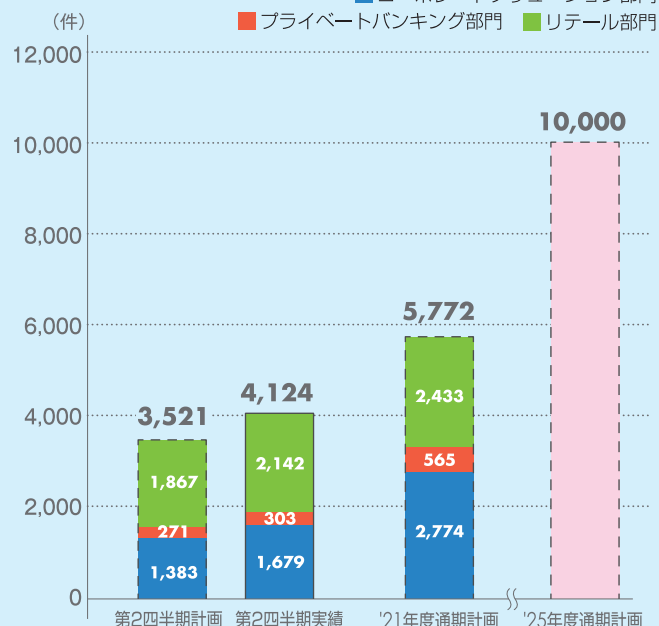


ソリューション件数

ソリューション件数は**4,124件**

(計画比+603件)

■ コーポレートソリューション部門
 ■ プライベートバンキング部門 ■ リテール部門



預貸金収支および非金利収益が前年同期比増加したこと等もあり、中間期の本業利益は前年同期比+8億円の36億円を着地。

事業承継や本業支援(コーポレートソリューション部門)、資産有効活用(プライベートバンキング部門)等、顧客ニーズに基づく提案営業が強化され、計画を上回るソリューション件数となる。
 リテール部門についても、富裕層ニーズの掌握活動が着実に浸透し、ソリューション件数は堅調に推移。

※貸出残高×預貸金利回り差+役務取引等利益-営業経費